

ちゃんと かわら版 千歳

災害ない一年願う
千歳消防出初式

1月7日、北ガス文化ホールにて千歳市消防本部と消防団による消防出初式が開催され、職員や団員ら367人が参加しました。

式のはじめには部隊観

閲が行われ、各隊・団の代表者がステージに上り、横田隆一千歳市長の観閲を受けました。

続いて、横田千歳市長や北山雄彦北海道石狩振興局長らが長年にわたる職務を務めた団員や吏員を表彰。また、女性消防団のみで構成された第3分団が昨年実施された全国女性消防操法大会に出場し、日々の訓練の成果を発揮、その功績をたたえ、五ヶ市紀代美分団長も表彰され、計53人が表彰状を受け取りました。ほかに、市内の各少年消防クラブ

が同市長より敢闘賞を受章しました。

横田千歳市長は「消防団員の皆さまには、地域防災を支える要として、日々献身的に活動していただいていることに、敬意と感謝の意を表します。近年は全国各地で自然災害が発生しており、千歳市も例外ではありません。防災行政の充実はまだづくりの根幹。今後

も防災対策の強化に努

(編集 佐々木)



最後に、坂口忠義千歳市消防長は「災害対応力、救急業務の高度化、火災予防の推進という目標を掲げ、今年が災害のない平穏な一年になることを願いつつ、市民の信頼と期待に応えるため一丸となって、職務にまい進していきます」と今年の決意を述べました。

(編集 佐々木)



1月9日、ANAクラウンプラザホテル千歳にて、おごそかに『春の海』を奏でる箏の音が鳴り響く中、千歳商工会議所による千歳商工会議所新春会員親睦のつどい

千歳商工会議所 新春会員親睦のつどい



親睦会は、千歳商工会議所の藤川俊一会頭のあいさつで始まり、来賓を代表し、横田隆一千歳市長は、千歳市空港開港100年に触れ、「空港によってまちづくりは大きな恩恵を受けています」と述べ、滑走路を手作りで造り始めた当時の住民の諸先輩方に想いをこめて述べた。また、ラピダスなどの半導体事業の開業に伴いホテル、マンション、オフィスの建設が続いていることに言及し、魅力あるまちづくりを進め未来に向けた飛躍の年とすることを誓いました。

親睦会は、千歳商工会議所の代表者同士、今年にかける思いなどを語り合い、千歳空港事務所の黒川俊之空港長は「利用者が使いやすいサービスを提供していくのはもちろんのこと、訪れて楽しさにあふれる空港にして行きたい」と話しました。また、千歳地区交通安全協会の斗賀山信義事務局長は、「昨年は市内の交通事故死事故が過去最低だったので、今年は事故を起こさせないような、啓発活動や交通ルールの整備などに取り組み、市民が安心して暮らせるような環境を作っていききたいです」と話しました。

(編集 小西)

北海道の空を守る
航空自衛隊「飛行始め」

ね、道内唯一の戦闘機部隊としての誇りを持ち、北海道の空を守り続けていく」と今年の抱負を語り、「われわれが任務・訓練に懸命に取り組むことができるのは、地域の皆さまの理解と大きなご支援があつてのこと。感謝申し上げます。とともに、引き続きご協力いただきたいと思います」と日頃の感謝を述べました。

また、千歳市空港開港100年についても話し、奥村1等空佐は「当時の村民らが造り上げた空港から現在まで発展してきた歴史をあらためて認識する機会となります。当時の村民の情熱を継承し、地域の皆さまとの連携の強化とさらなる発展につなげていきたい」とのことでした。

航空自衛隊千歳基地で1月6日、今年最初の飛行訓練となる「飛行始め」が行われ、201203飛行隊が参加しました。

飛行前の点検では駐機場に並んだ戦闘機を、整備員がエンジンなど入念に点検。パイロットが整備員に新年のあいさつをして搭乗しました。その後、滑走路に向かい、練習機T-4とF-15戦闘機の計11機が新春にふさわしい澄み切った青色の空へと飛び立ちました。

航空自衛隊第2航空団飛行群司令の奥村昌弘1等空佐は「日本周辺国の活動に注視しつつ、あらゆる事態に対しての抑止、対処をするための実力が維持できるように訓練を重



(編集 佐々木)

私たち「時計宝石修理研究所」のミッションは、お客様の思い出やSTORYが刻まれた時計や宝石を蘇らせる事です。

私たち時計宝石修理研究所は、ただ壊れたものを修理するのではなく、モノに宿る思い出や記憶を蘇らせるお手伝いと考えています。愛情や気持ちを持って、ひとつひとつ丁寧に対応させていただきます。



大切なものを出来る限り
長い期間使ってもらおうお手伝い



ものが持つ本来の価値や
存在意義を追求していく姿勢



お客様の要望や希望を
具現化するために誠心誠意対応



どのお店で買ったものでも、
どこのブランドでも
時計や宝石に関して
お困りの事があれば、
どうぞご相談ください。